



127

2023年(令和5年)

10/20 発行

あなたと議会のかけ橋に

荅北町議会だより

きずな

主な内容

- 臨時会・定例会・特別委員会 … 2～5
- 全員協議会・委員会報告 …… 6～8
- 一般質問ほか …… 9～13

荅北中学校天領太鼓

HAPPY PARTY REIHOKU 2023& 荅北町子ども会集会

発行 荅北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

こんなことが決まりました!!

令和5年 第5回議会臨時会 開催日：7月4日

令和5年度 一般会計補正予算について

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案 50号	一般会計補正予算（第4号）	5,075,008	21,491	5,096,499	LP ガス価格高騰対応生活者支援事業補助金 16,900千円等の増	◎

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決

契約の締結等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第48号	製造請負契約の締結について	航空写真の撮影とデジタル地形図の作成及び道路台帳のデジタル化を行うもの。 契約の相手方 熊本市 株式会社パスコ 熊本支店 契約金額 96,627,300円	○
議案第49号	財産の取得について	管内教職員用のノートパソコン63台（ソフトウェア、設定含む。）の動産の取得。 契約の相手方 天草市 株式会社北星堂 取得金額 7,128,919円	◎
報告第6号	専決処分の報告について 専決第10号 損害賠償額の決定及び和解について	苓北町巡回バスが国道324号から町道釜線に左折する際に、町道釜線から国道324号に右折進入する車輛の側面に接触、相手方車輛が破損した。 損害賠償額 524,719円	-

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 - 報告につき採決なし（賛否表は下表のとおり）

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号	事 件 名	結果	表採決		田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田嶋	倉田	錦戸	高戸	野崎
			賛成	反対										
議案第48号	製造請負契約の締結について	○	8	1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-

議案第48号 製造請負契約の締結についてに伴う説明

原案に反対討論

浜口議員

町は防災マップ類も作成されており、空き家、消防施設、防犯灯等の行政情報も把握している。
1億円の巨額の委託料による資料収集ではなく、行政自らが、業務体制、職員構成等々を今以上に吟味し、なお一層町民に寄り添った業務の執行に取り組みべきで、更なる検討により、人口減少対策、少子化対策、高齢化対策、生活環境の保全対策、教育対策や諸々の産業振興等課題解決へ取り組みべき。

原案に賛成討論

倉田議員

統合型GISを導入することにより、庁舎内におけるそれぞれの課が保有するデータの共有化で、その後の利活用、また、管理面からも効率が良くなる。道路図、航空写真、消火栓、防火水槽等防災マップなどの行政情報をインターネット上で統合的に示すことができ、役場に向くことなく、その情報が取得でき、利便性が向上する。

廣田議員

これまで、それぞれの課で行っていたデータ整備のコストが削減でき、それぞれの課の間での迅速な情報共有が図られるものと確信する。すみやかに具体的運用体制を整えられ、ことにあたってほしい。

令和4年度決算審査特別委員会

委員長 倉田 明

令和4年度 歳入歳出決算認定・報告

議案番号等	事 件 名	結果
認定第1号	一般会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第2号	坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第3号	都呂々財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第4号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第5号	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第6号	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第7号	水道特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第8号	下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第9号	農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第10号	特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
認定第11号	宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
報告第9号	決算における健全化判断比率について	-

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決 - 報告につき、採決なし

令和5年 第6回 苓北町議会定例会において令和4年度の決算の認定が議案となり、議長と議選監査委員を除く8議員を委員とする特別委員会に審査を付託、監査委員に同席を求め、9月11日から13日の3日間、開催されました。
そこでは、令和4年度に執行された予算を予算案審査時には見落とし点や、実際の予算執行における疑問点等に、意見や質疑応答がなされました。
その結果として、一般会計、特別会計の全てを認定することとなりました。

審査の結果

- ・ 一般会計歳入歳出決算
- ・ 坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算
- ・ 都呂々財産区特別会計歳入歳出決算
- ・ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ・ 介護保険特別会計歳入歳出決算
- ・ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ・ 水道特別会計歳入歳出決算
- ・ 下水道特別会計歳入歳出決算
- ・ 農業集落排水特別会計歳入歳出決算
- ・ 特定地域生活排水処理事業特別会計

計歳入歳出決算
・ 宅地造成事業特別会計歳入歳出決算
以上11会計、全て「認定すべきもの」と決定する。

※次の事項について執行部に対し要望することを決定しました。

一般会計

歳入について

①ふるさとづくり寄附金による収入増に努められたい。

歳出について

①脱炭素社会に向けて、具体的に取り組まれない。

②人口減少対策の取組みに努められたい。

③企業誘致については、引き続き努力されたい。

④町有施設の管理体制の強化に努められたい。

特記事項

①新型コロナウイルス等感染症の拡大防止に引き続き努められたい。

特別会計

特記事項なし

荅北町議会だより「きずな」第127号

■条例制定・改正について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
発議第9号	荅北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	物価高騰等を考慮し、令和5年12月期の議会議員の期末手当を削減する 提出者 浜口雅英議員	×
議案第51号	荅北町税条例の一部を改正する条例について	引用法令（私立学校法）の条項ずれ	○
議案第52号	荅北町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	町指定ゴミ袋（一般家庭用）につき、消費税インボイス制度に対応するため	○

【結果の表示について】 ○全会一致で可決 ×賛成少数で否決（賛否表はP4下欄に掲示）

■令和5年度各会計補正予算

(単位：千円)

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案第53号	一般会計補正予算（第5号）	5,096,499	397,305	5,493,804	5月、7月の豪雨で被災した箇所の災害復旧工事費他	○
議案第54号	坂瀬川財産区特別会計補正予算（第1号）	1,841	199	2,040	前年度繰越金確定による	○
議案第55号	都呂々財産区特別会計補正予算（第1号）	61,284	43	61,327	前年度繰越金確定等による	○
議案第56号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	1,004,608	42,041	1,046,649	前年度繰越金確定による	○
議案第57号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	1,095,699	27,815	1,123,514	前年度繰越金確定による	○
議案第58号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	132,374	900	133,274	前年度繰越金確定による	○
議案第59号	水道特別会計補正予算（第1号）	209,936	8,560	218,496	前年度繰越金確定と起債借り換えによる	○
議案第60号	下水道特別会計補正予算（第1号）	353,427	△3,473	349,954	前年度繰越金確定と事務費分繰入金等による	○
議案第61号	農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	24,021	380	24,401	前年度繰越金確定による	○
議案第62号	特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	46,886	980	47,866	前年度繰越金確定による	○
議案第63号	宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	8,662	23	8,685	前年度繰越金確定による	○

【結果の表示について】 ○全会一致で可決

■教育長の任命について

氏 名	住 所	任 期	結 果
濃崎敏和	荅北町富岡	R5.10.1 から R8.9.30	任命に同意

■教育委員会の委員の任命について

氏 名	住 所	任 期	結 果
平川和久	荅北町上津深江	R5.11.17 から R9.11.16	任命に同意

■請願・陳情等文書の取り扱い結果

受理年月日/番号	件 名	請願（陳情）者	結 果
R5.8.23 陳情第3号	会計年度任用職員の処遇改善を求める陳情	熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水 自治労連・熊本自治体一般労働組合 執行委員長 多久 俊一	議会運営委員会に諮り、「議員配布」とした。

荅北町は、少子化の進展により児童数が大幅に減少するため、現在町内小学校の統廃合に係る諸課題を整理・協議しており、今後統廃合の方向性を決める重要な時期を迎える。演習教育長は、小学校・中学校の教師経験が長く、志岐小学校及び荅北小学校の校長として在職され、町内小・中学校の実情にも精通されている。各学校からの信頼も厚い演習教育長の手腕に大いに期待し、再任に賛成する。

山口議員

原案に賛成討論

この様な事から、行政の業務経験者が適切と考える。

人口減少が進み、合わせて児童生徒も減少している。教育の振興と合わせて住民と一体となった幅広い教育行政が求められる。

浜口議員

原案に反対討論

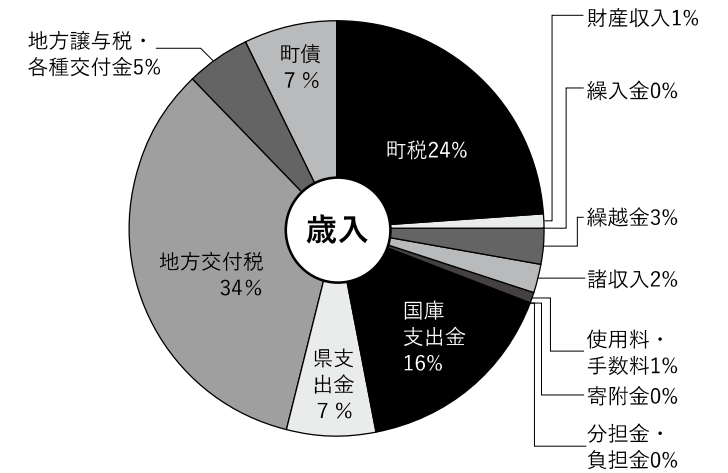
同意第7号 教育長の任命に伴う討論

令和4年度一般会計・特別会計決算 認定

一般会計

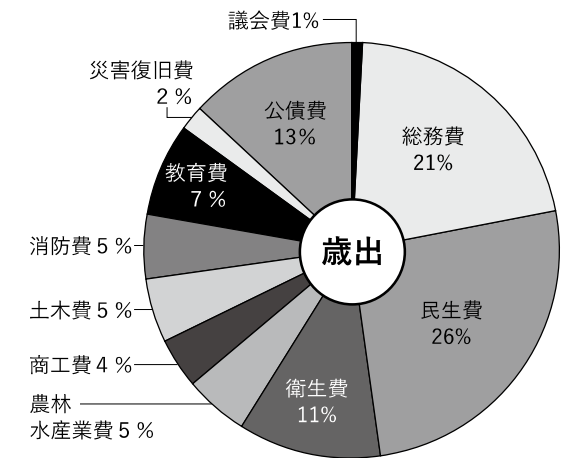
歳入 (単位：千円)

区分・率	項 目	令和4年度
自主財源 31.7%	町税	1,405,082
	財産収入	51,731
	繰入金	28,756
	繰越金	182,864
	諸収入	103,461
	使用料・手数料	48,153
	分担金・負担金	19,837
	寄附金	25,086
依存財源 68.3%	国庫支出金	919,012
	県支出金	398,269
	地方交付税	1,980,474
	地方譲与税・各種交付金	273,455
町債	438,000	
100%	合 計	5,874,180



歳出 (単位：千円)

項 目	令和4年度
議会費	70,239
総務費	1,176,521
民生費	1,416,975
衛生費	609,369
農林水産業費	289,706
商工費	232,846
土木費	289,125
消防費	256,600
教育費	364,679
災害復旧費	130,885
公債費	719,984
合 計	5,556,929



注：数値は、千円未満を四捨五入し表示

※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。

特別会計

歳出決算額 (単位：千円)

項 目	令和4年度
坂瀬川財産区	679
都呂々財産区	3,275
国民健康保険	983,854
介護保険	1,047,721
後期高齢者医療	125,106
水道	202,129
下水道	345,678
農業集落排水	20,784
特定地域排水処理事業	43,548
宅地造成事業	316

注：数値は、千円未満を四捨五入し表示

(参考) 積立基金の状況 (単位：千円)

基金名	令和5年5月末現在
一般会計基金合計	1,911,711
特別会計基金	240,889
基金合計	2,152,600

注：数値は、千円未満を四捨五入し表示

町債残高の状況 (単位：千円)

町債名	令和5年3月末現在
一般会計町債合計	6,283,461
特別会計町債合計	2,070,027
町債合計	8,353,488
(うち、臨時財政対策債)	(2,564,501)

※臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うための特例的な町債です。用途は自由で、元利償還金は翌年度以降、国が地方交付税で全額措置を行うものです。

賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(野崎)は採決に加わらない)

議案番号	事 件 名	結果	表採決											
			賛成	反対	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田嶋	倉田	錦戸	高戸	野崎
発議第9号	荅北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	×	3	6	●	●	●	○	○	○	●	●	●	-
同意第7号	教育長の任命について	○	無記名投票により賛成多数で同意											

総務文教厚生常任委員会調査報告

総務文教厚生
常任委員長 山口利生

◎概要 所管関係課の現地調査を委員会所属議員全員及び議長の出席により実施した。

◎調査の経過

- (1)調査日時 令和5年7月18日(火)、7月19日(水)午前9時から12時まで
- (2)調査場所 ①坂瀬川小学校、②都呂々小学校、③旧坂瀬川中学校校舎、④旧都呂々中学校校舎、⑤旧荅北町郷土資料館
- (3)出席委員等 山口委員長、錦戸副委員長、浜口委員、高戸委員、野崎議長
- (4)調査方法等 担当課及び学校関係者等の説明を受けながら現地調査を行い、帰庁後、総括を行った。

◎調査の内容と結果の概要及び委員会意見、要望

(1)坂瀬川小学校及び都呂々小学校の現況調査

本委員会では、複式学級が設置されている坂瀬川小学校及び都呂々小学校を訪問調査し、単式学級と複式学級の授業内容や両小学校の現況把握を行った。

両小学校では、児童の特性や可能性をいかし、子どもと真に向き合う時間の確保に努めながら創意工夫して学習指導にあたりるとともに、職員一丸となって地域と家庭との連携による活気のある学校づくりを推進されている。また、児童の学習態度も良好であり、各教室に設置してある電子黒板やモニターを積極的に活用するとともに、タブレットによる情報収集やプレゼンテーション教材を有効活用するなどICT教育の水準も高く、相対的に学力、体力面は平均的以上であるが、一部平均以下の学年があった。

複式学級は、一人の教員が2学年を担当し、同じ教室で1時限を半々に分けて授業を行うため、町費負担の特別支援教育支援員を配置しているが1時限の半分は自習時間となることから年間を通じた実質の授業時間の減少により単式学級児童との学力格差が生じるのではと懸念された。また、担任教師の負担も、単式学級に比べ2学年分の学習構想案(年2回)作成や授業の下調べ等のために2倍以上となっている。

さらに、両小学校には個別の支援を要する児童が在籍しているが、教員不足により特別支援学級が設置されておらず、対象児童への学校側の支援体制が非常に厳しい状況となっている。

荅北町教育委員会では、令和4年9月に荅北町学校教育審議会設置条例を制定し、小学校の統廃合に係る諸課題の検討、協議を進めている。昨年度実施した小学校統合に関する保護者アンケート調査の集計結果では、小学校の統合に対する考えとして①積極的に統廃合すべきである21%、②統廃合されることはやむを得ない65%、③児童数が少なくても統廃合は避けるべき6%、④小学校が統廃合されることに反対5%となっている。

小学校の統廃合に係る諸課題の検討、協議にあたっては、単式学級と複式学級における学習能力向上の比較検討や集団生活への対応力などを調査、研究するとともに、統合校舎設置個所の選定などを含め、児童の教育と健全育成を最優先にした検討を進められたい。

(2)旧坂瀬川中学校校舎及び旧都呂々中学校校舎の活用状況調査

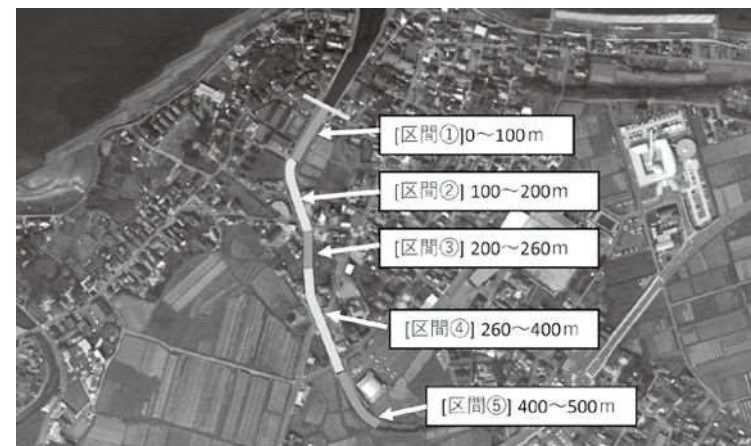
旧坂瀬川中学校校舎は、現在1階を坂瀬川出張所と坂瀬川公民館として使用し、老人会や住民の各種活動に有効活用されている。2階は、階段に関係者以外は立入禁止のロープを張り、空教室の一部を公文書保管庫として使用しているが、隣の空き教室にもダンボール箱で存置しており公文書の適正管理上問題であるので早急な対策が必要である。また、地域住民から旧音楽室を活用できないかとの要望がっており、2階部分も積極的に活用方を検討されたい。

旧都呂々中学校校舎は、特別教室棟を令和元年度から地元有志でつくる「もやい倶楽部」が惣菜や菓子などの特産品の調理・販売や地元で採れた野菜等の直売所を開設し、住民の拠り所として活用されている。また、令和3年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し空き教室の一部をサテライトオフィスとして改修し、本年6月から都呂々地区風力発電所建設に係る工事事業者の現場事務所として使用されている。1階空き教室には、道路管理用資材とともにダンボール箱に詰めたままの公文書が無造作に保管されており、公文書の管理が不十分であるので坂瀬川公民館2階の公文書保管庫への移送を早急に行うこと。

なお、両中学校校舎の机や椅子等の備品類が現在も保管されているが、今後使用する予定がないものについては適切な処分を進めること。

(3)旧荅北町郷土資料館の活用状況調査

令和4年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及びデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、郷土資料展示室2室をサテライトオフィスとして改修し、1室は本年6月からふるさとづくり寄付金受付等業務を受託している業者が利用しているが、残り1室についても早急な利活用を進めること。



- 改修計画概要
 - ①平成27年の洪水を流せる河川改修を目標とする。(平成27年の洪水毎秒90m³推計) 現況流下能力約毎秒50m³を↓約毎秒130m³とする計画。
 - ②方法Ⅱ護岸の嵩上げ・河床切り下げ
 - ③工事Ⅱ令和5年10月

志岐川河川改修について

全員協議会
令和5年9月7日(木)開催

水道・下水道特別会計の公営企業会計への移行について

令和6年度より移行される。

①目的

「官庁会計(単式簿記)」から、「公営企業会計(複式簿記)」へ移行し、企業の経営方式を取り入れながら、公共性を保つことを目的とし、財務情報を整理し、より一層の経営の効率化・健全化に努めることとする。

②会計方式の違い

官庁会計(単式簿記)は現金主義に対し、「公営企業会計(複式簿記)」は、全ての財産の増減の変化を発生時点で記帳する、発生主義を採用した会計方式。収益的収支・資本的収支に区分し、損益計算書で経営成績、貸借対照表で財務状況の把握ができるようになる。

③公営企業会計移行による効果

貸借対照表、損益計算書などの財務諸表を作成し、財務状態や経営成績が分かり易く示すことができる。財政状態や経営成績を分析することで、長期的な経営計画の策定に必要な情報が得られる。減価償却の導入により、施設の老朽化の状態を的確に把握できる。

令和5年8月17日(木)開催

天草広域連合
新ごみ処理施設について

(これまでの変遷と事業契約(案)の内容について、天草広域連合より説明)

①事業開始の経緯

○天草圏域のごみ処理を、5施設で処理し、年間約18億円の処理費が支出されている。5施設は老朽化が進み、圏域の既存の施設の統合により、環境への負荷の軽減及び廃棄物行政の効率化を図ることで、建設計画を進めた。

②新ごみ処理施設整備事業概要

○場所Ⅱ本渡地区清掃センター隣接地
○予算額Ⅱ369億4,350万円(設計建設費+運営費19年9カ月分)
○入札結果

○落札者(代表企業)Ⅱ(株)川崎技研

○金額(税込)Ⅱ368億5千万円

※8月24日天草広域連合議会へ提案する。



令和5年 第4回天草広域
連合議会定例会傍聴について

荅北町議会は、議会活動として、令和5年第4回天草広域連合議会定例会を傍聴した。

1. 期 日 令和5年8月24日(木)

2. 場 所 天草広域連合議会会場

●天草市楠浦町に計画している新ごみ処理施設整備については、執行部提案がこれまでに一部構成市町の理解を得ることがなく、その運用開始時期が心配されていた。

荅北町議会においては、8月17日開催の荅北町議会全員協議会に、天草広域連合事務局を招へいし、現状説明を受けたところである。

今回、このことを受けての天草広域連合議会定例会傍聴となった。

当日は、建設予定地の天草市楠浦町の住民の方の傍聴もあり、傍聴席は、ほぼ満席の状態であった。工事請負契約の締結の議案については、賛成・反対、それぞれ天草広域連合議会議員の活発な討論があった。

結果として、賛成多数により原案可決となったが、今後は、天草広域連合事務局から、その都度の丁寧な状況事前説明があることを望むものである。

建設経済環境
常任委員長 倉田 明

建設経済環境常任委員会調査報告

◎概要 所管関係課の現地調査を委員会所属議員全員及び議長の出席により実施した。

◎調査の経過

- (1)調査期日 令和5年6月28日(休)
- (2)調査場所 苓北町温泉センター、富岡港陥没箇所、富岡城東角櫓ワーキングスペース白木尾海岸(法面)、藻場造成、年柄・竹の迫(国道389号関係)、町道、県管理河川、下田南バイパス(トンネル等工事状況)
- (3)出席委員等 倉田委員長、廣田副委員長、田嶋委員、松本委員、田崎委員、野崎議長
- (4)調査方法等 担当課の説明を受けながら現地調査を行い、帰庁後、総括を行った。

◎意見・要望事項等

- ①苓北町温泉センター(麟泉の湯)
入館者はコロナ禍前ほどに回復していないが増えつつある。しかし、人口の自然的減少等もあり期待は厳しい状況のようである。
利用客増に向けた取り組みとして、町民グラウンド等(農村運動広場等)のスポーツ大会利用、参加者の入館料金を大人半額、中学生以下には無料券など配付し相乗効果が図れないか。また、町と指定管理者で協議、指定管理者において、送迎を伴うような自主事業を計画するなど、検討されたい。
- ②富岡港陥没箇所
陥没箇所修復工事は終えてあったが、引き続き注視が必要と思われる。また、港湾は町の玄関的存在であり不特定の利用が見込まれ、今後、観光面からも施設の利活用に向け適正な管理体制を熊本県に要望されたい。
- ③富岡城東角櫓ワーキングスペース
大いにアピールし、利用拡大を図られたい。個人と団体の混在利用について、精査が必要ではないか。また、行くまでの交通アクセスに不便さがあり、改善の余地があると思われる。
- ④白木尾海岸(法面)
法面等の崩壊が進んでいる。関係者等との協議を重ね、事業の早期着工が望まれる。
- ⑤藻場造成
アントクメ等の幼芽の発芽が想定され、ここを核とする藻場の広がりが期待されている。地球温暖化、磯焼け等の課題が多い中、引き続き注視され、追跡調査を願いたい。また、成果が出ているようなので、適当な国の補助事業があれば計画してほしい。
- ⑥年柄・竹の迫(国道389号関係)
この付近一帯は法面が高く地質的に崩れやすい地帯で、豪雨等の災害発生時には交通止めなどの規制がある。現在、傾斜地及び道路改良工事が進められているが、関係機関の早急な対策と早期完成が望まれる。
- ⑦県及び町管理河川の状況
県及び町管理河川については、逐次河川敷の竹木の伐採等が行われているが、2～3年経過すると元の形になってしまう。町内には、これら類似した箇所、また、河川の護岸改修等が必要な所もある。引き続き管理と改修は優先度に照らし進めていただきたい。
- ⑧町道全般
通常、路面水は道路側溝に入り排水されるが、路面の破損、劣化等で側溝より路面が低いために機能が失われたり、舗装が剥がれての窪み、路肩のひび割れなど多く見受けられ、早急な対応が求められる。
- ⑨特別視察 下田南バイパス(トンネル等工事状況)
世界文化遺産となる崎津集落への当町からのアクセス道路でもあり、近隣住民の生活道路としての利便性も高く、早期完成が望まれる。

一般質問

問① マイナ保険証について

① 苓北町国保被保険者のうち、マイナンバーカード取得者数は、

町長 1,688人中1,376人。

② その中でマイナンバーカードを健康保険証に紐づけされている人数は、

町長 1,376人中1,293人。

③ 町内医療機関等のオンライン確認資格のためのカードリーダーの設置状況は、

町長 町内の医療機関等9箇所、すべて設置済。

以上 令和5年7月末日現在
要望 苓北町に住所を有する、熊本県後期高齢者医療保険制度の被保険者を含め、マイナンバーカードへの保険証の機能の一体化に向けて、引き続きの周知を願う。

問② ふるさと納税について

① 高森町視察後、どのような策が展開されようとしているのか。

町長 返礼品目の充実と広告宣伝が必要不可欠と伺った。効果的な広告宣伝に取り組んでいく。

問③ れいほくよかなビの活用について

① れいほくよかなビに町民のお悔やみ情報を掲載できないか、アンケート機能を使った調査や様々な課題に対する提案の受付等、れいほくよかなビを使ってできないか。



廣田 幸英 議員

み情報掲載は、有益な情報伝達手段である。ご遺族の掲載許諾を前提に、準備して参る。デジタルアンケート、パブリックコメント等、今後のデジタル社会の進展を踏まえ、活用していくこととしたい。

要望 もしもの火災発生・鎮火の情報も瞬時に、れいほくよかなビに掲載できないかと要望したところ、すでにれいほくよかなビは、その機能を有しているとの答弁あり。

問④ 週休日、年末年始の休日につき、税務住民課職員が輪番制により、死亡届につき、自宅等で待機しているが、何の手当も支給がない現状にあるが、労務管理上、改善の余地はないのか。

町長 町民が安心して生活することができるよう、各部署で時間外での対応を行っている。現行の諸手当に關する法令等を勘案しても、このことにつき、待機手当の支給は難しいと考える。

要望 法令等の位置づけを踏まえ、このことについての役場職員への周知徹底を図られることを願う。今後とも労務管理を徹底されたい。

①熊本・天草幹線道路整備について

②島原・天草・長島架橋(三県架橋)構想について

③八代・天草シーライン構想について

④「有機の町」に名をあげてみては

⑤価格保障制度の基準額の見直しを

問① 熊本市、天草市に至る総延長70kmの計画のうち現在の進捗率は

町長 全線70kmのうち、本年2月25日に開通した本渡道路を含めて、整備済み18・3kmで約26%、整備中の5区間の合計で30・2km約43%、残りの調査中の区間が約31%となっている。

再質 早期完成に向けて、頑張ってもらいたい。

問② 昭和63年5月長崎・熊本・鹿児島3県で地元期成会で協議会が設立されて、いろんな取り組みがなされている。現在の状況は

問③ 平成元年に行行政、平成4年に民間期成会が設立され、令和3年には県知事を中心とした建設協議会による国への要望活動が続けられている。この構想を実現させるために、私たちはどのような協力体制を取ればよいのか

町長 それぞれの構想については、20～30年間を対象とした中長期視点で検討されたもので、国の財源の確保は厳しいものと考えられるが、これらの構想実現に向けては、民間主体の推進組織と連携を図りながら、一歩ずつ歩みを進めていく必要がある。議員におかれては、各々の推進大会等に臨席をいただき、天草地域の



田崎 稔 議員

さらなる機運醸成のため協力を賜りたい。

問④ 地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫した推進を農水省が後押しする「オーガニックビレッジ」。これは政府の「みどり食料システム戦略」の一環で、実証計画が認定されると交付金が受けられる。JA・事業者・行政が一つとなり栽培実証や販路開拓が始まり、特色ある「有機の町」づくりが出来る。町においても認定農業者を中心としたひまわりプロジェクト、堆肥センター、畜産農家の堆肥投入、微生物を使った有機栽培への取り組みが行われている。これを機会に「有機の町」づくりの本格的に取り組み、農産物に付加価値をつけ、有利販売につなげるようにしたらどうか。

町長 有機栽培のメリット、デメリットを踏まえ、町の農業の現状を照らし合わせ、県やJAと協議を行い農業者の意見も伺いながら、今後検討したい。

問⑤ 適正な価格転嫁については、早急には厳しいものと考えられる。そこで「野菜価格安定対策事業における保証基準額の引き上げ」を県、国へ働きかけてもらえないか。

町長 国、県に対して要望を行って参る。

【質問】在宅高齢者等配食サービスについて

荅北町では、65歳以上の一人暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯、身体障害者のみの世帯等で、自分で食事の調理ができない者を対象に、週1回から7日以内で、月曜日から日曜日の昼食か夕食の1食600円弁当（うち自己負担額300円）を宅配する「在宅高齢者等配食サービス」を天草市の事業者へ委託し、令和5年度は6人が利用されている。配食サービスは、食が細くなり偏った食事になりがちな高齢者にとって、栄養価が高い弁当を食べることで健康の維持改善になり、自宅で元気に生活できることで介護費や医療費の抑制にもつながる。男性・女性を問わず、沢山の高齢者が利用しやすいサービスとなるよう「自分で食事の調理ができない者」の制限を撤廃すべきではと考えるが如何か。



山口利生 議長

を問う。

【町長】「在宅高齢者等配食サービス」は、荅北町食の自立支援事業実施要綱により、食生活の改善と健康増進を図り、在宅での自立支援を目的に実施している。「自分で食事の調理ができない者」の制限を撤廃すると、多くの一人暮らしの高齢者の利用が見込まれると思うので、現在町が委託している業者にとどの程度の人数まで配食サービスが可能であるか確認し、対応可能であれば利用希望調査等を実施し、高齢者福祉サービスにつなげていきたい。また、「もやい倶楽部」との配食サービス事業者契約については、実施要綱において「適切な環境衛生が確保され、管理栄養士又は栄養士が配置され、考案された食事を提供する配食業者に委託することができると定めており、「もやい倶楽部」の皆様がこの要件をクリアできるかどうかも含め協議をお願いする必要がある。今回の提案を、地域の高齢者支援策として捉え、現在買物の移動支援等の検討をお願いしている荅北町社会福祉協議会の事業に含めて実施できないか、併せて相談、協議して参りたい。



松本良人 議員

【問1】町執行の各種事業の中でよく言葉に出るのが「有利な起債」である。しかし起債は、借金である。県下一人当たり91万9千円の借金でランクは4位（資料9月インターネット情報、熊本県の住民一人あたりの借金番付）は実に情けない。2023年6月19日岡山駅や官庁等に段ボールの箱が送られ、爆破予告のメールが送信されたと大きく報道された事件があった。その中に、「大きな声だけでなく、小さな声にも耳を傾けて」と言った内容の文章が入っていたと言う。有力者や大物政治家が大きな声、声をだしても届かず泣き寝入りの多数の人々が小さな声であろうと思われる。

現在、個人の所有する財産の保護、改良、農災等には負担金が伴う。計画の中の白木尾台地農地はどのように考えているか尋ねた。

町内には豪雨、波浪により河川、道路を初め危険箇所が手付かずのまま多数残っており、海岸では崩壊、滅失、浸食、又河川には、崩壊により壊滅状態の所は多い。関係町民は泣き寝入り状態にある。平等のない町を望む。一方、坂瀬川漁港においては、防波堤は動いているが防波堤の役割は果たしている。立ち入禁止等規制を行い、今後台風等の高波で大きく現状が変わった場合に、漁港施設災害復旧事業により実施できる可能性がある。荅北町の借金体制から一日も早い脱出を願うが、町長の考えは？

白木尾農地の保全他、農地等個人の財産の事業については条例規則等法の整備を早急に実施され、個人負担金が伴う事業については、均一化、平等性に努められたい。この2件については、強い要望があるの事と思われるが、規則、要綱等また、世間の常識等様々な角度から状況を見極め、出来るものはやる。出来ないものははっきりと断る。大きな声にまどわされない体制づくりを願う。【町長】白木尾台地には農地その背後には道路、住宅がある。法面の崩壊が進むと道路や住宅に被害が及ぶ。負担金は土地を寄付していただく事で、負担金は取らない。（この答弁に疑義があった。再質問したが、明確な回答なし）坂瀬川漁港は緊急自然災害防止対策事業債で実施する。今後、状況を見極めながら適切に行っていく。【問2】天草広域連合新ごみ処理施設整備工事の入札が令和5年5月30日に行われたが、賛成3、反対6で否決となった。事業費、約370億円の巨額な予算である。今回の建設工事請負契約否決の理由等6件について、副連合長（荅北町長）として、解る範囲で説明を求めた。（紙面の都合で回答は省略）

一 安心して住めるまちづくり

【町長】人口減少の課題とその対策



山口利生 議長

【浜口】人口減少の解決策は今取り組まなければ消滅自治体になる。これまで手段として学園都市構想や児童生徒の学校給食の無償化を提起。PTを立ち上げ2年から3年間の短期間で人口減少問題への具体的な方策を立案すべき。

【町長】「荅北町子育て支援対策会議」を立ち上げ検討を進めている。

【教育課長】

学校給食無償化は現在協議中。

【浜口】児童生徒の教育環境の整備

【町長】学校に学校生活の安全確保が必要と思われる事案が見受けられる。学校施設の冷房対策は、熱中症による児童の死亡事件も報道されるなか講堂や体育館にも冷房施設を。

【町長】

毎年夏休み期間中に、学校、警察、道路管理者等と連携して通学路等の合同点検を実施している。

講堂や体育館への冷房整備は既設の普通教室エアコンやスポットエアコンを工夫して活用している。現在、町内小学校の統合問題も協議されている。

【浜口】福祉施策の現状と充実

助成金の支払い方法手段は天草市

【町長】他の自治体の現物給付へ制度改革され、関係者の利便性を確保すべき。

【町長】出来る限り委任払いの支払いが出る様に努力をしてまいりたい。

【浜口】公共用財産施設の維持管理

【町長】海岸線延長は約31km。これらは十分に管理されているとは言えない。

【町長】「公共用財産施設の維持管理」に8件のご質問。波浪等により護岸背後の道路等の浸食が生じる事があれば管理者である熊本県に対策を要望してまいります。

【町長】

二 活き活きと暮らせるまちづくり

【町長】農業者や地域の声を直接聴く機会を設けそれぞれの意見に対し施策に反映すべき点は反映させより良い農業振興に努めたい。

【町長】農業者や地域の声を直接聴く機会を設けそれぞれの意見に対し施策に反映すべき点は反映させより良い農業振興に努めたい。

【浜口】

町長が、農業従事者と膝を突き合わせた懇談会の実施は効果的と考えられる。ぜひ最善の方法と手段で基幹産業の農業振興に取り組むべき。

【町長】

農業者や地域の声を直接聴く機会を設けそれぞれの意見に対し施策に反映すべき点は反映させより良い農業振興に努めたい。

【問1】公共事業に対する取り組みについて



高戸幸雄 議員

【問2】畜産業に対しさらなる支援策を

【町長】畜産業の現状は、今年に入り、子牛の価格が急落し、国においては、1月からの支援策を12月までに引き続き拡大充実すると発表があったが、畜産経営を取り巻く厳しい状況を見据え、考慮しながら臨時的措置として、関連資材の支援については、早急に検討を進めていく。

【問3】7月16日テレビ番組で、「奮闘・涼しいランドセル物語」とした番組が放送された。昨年、児童が、「市民ポスト」に暑さ対策を求めた内容であった。児童の直訴状にすぐさま指示を出した市長。課題に真摯に取り組む市教育委員会は、今年地元のカバンメーカーとも検討を重ね「ひんやり背あてパッド」を商品化して市長自らが直接手渡したとあった。「聞く力」を持った自治体トップの姿である。荅北町も早急に取り組むべきではないか。

【町長】暑さ対策として、ランドセル用冷却用品の配布につき、児童の直訴状に真摯に応える、その市の対応力に敬服する。熱中症対策として、有効と考える。他の対策用品も含め前向きに検討していく。

【再質】冷却用品に対しては、検討ではなく、配布することを前提に経費の算定を望む。

【問1】コロナ禍の影響で疲弊した地域経済の活性化対策の一つとして、公共事業の取り組みは大きい必要がある。が、今年度の現状は大変厳しいのではないかと。土木事業従事者のほとんどが、公共事業によって会社の中心的な運営をなしているものと思う。一つの方策として、町河川浚渫事業の施工内容を考えると今が一番の好機である。早急な入札対応を求める。また、前年度と比較し事業費等減となる場合は、起債等借り入れも考慮し、当面の打開策に取り組む姿勢も必要である。

●保育料等の無償化と
小中学校の給食費の無償化を

【町長答弁】
「苓北町子育て支援対策会議」で検討



明 倉田 議員

問 政府は6月13日、異次元の少子化対策の中で「子ども未来戦略方針」を決定。これから5～6年は「少子化傾向を反転できるか、どうかのラストチャンス」とし、今後3年間の具体的な政策として、「児童手当」は所得制限を撤廃し、高校生まで広げ、第3子以降への給付を、1万5千円から3万円に倍増。
「出産費用の保険適用の導入」は2026年度を目途に保険適用を導入することを検討。
「年収の壁」は106万円、130万円を越え、社会保険料が発生し逆に収入が減るので、短時間労働者へ被用者保険の適用拡大。
「子育て世帯の住宅支援の強化」や「保育士の配置基準の改善」など多項で、財源は歳出改革、企業と国民からの保険料制度を新設し、消費税等の捻出はしない。とあるが課題も多い。2022年の日本人出生数は過去最少の77万747人、統計を始めた1899年以降最少。
更に、8月30日厚生労働省人口統計速報値では、今年1月から6月まで生まれた子どもは外国人を含め3万1,052人で、去年同期比1万3,890人の減となっている。このままでは自治体形成や国の存続が危ぶ

まれる事態になりかねない。子育ては家庭が基本だが、ここまで来ると各自治体にサービス競争をさせるのではなく、政府責任のもと、しっかりとした対応を講じていただきたい。
現在、町の保育料は国の徴収基準額より低額に設定し、第3子以降は保育料、副食費の無償化など軽減されているが、軽減後の保護者負担金約825万円を新年度町負担とする考えはないか。
また、学校給食費は月額、小学生4,200円・中学生5,000円、児童3,040円・生徒1,611人で年間約2,300万円。新年度から給食費を無償化する考えはないか。

町長 現在、役場庁舎内で、「苓北町子育て支援対策会議」を立ち上げ、福祉保健課を中心に、保育園の保育料の無償化、また、学校給食費や奨学金制度で教育委員会、住宅施策で土木管理課、移住定住施策で企画政策課等、関係各課で検討を進めている。
再質 その「対策会議」の期間は。
町長 国の動きをみて暫く継続したい。その上で来年度の予算に計上する部分もあるので、11月12日に議会にその状況など報告したい。

①移住・定住推進の政策提案について
②学童の町施設利用について
③物産館について



司 嶋田 議員

問① 人口減少から来る空き家、空き地の増加で地域の防犯、防災の安全性の観点から町の対応が迫られている。町の政策の1つに空き家バンクがあるが、登録件数は直近3か年で12件、制度を介して2件が入居となっている。令和2年の2月時点で、町全体の空き家件数は373件あり、空き家バンク登録率は3%しかない。もつと登録を推進し、より多くの情報を発信し、移住者にアピールしていくべきではないか。また、町独自の政策も必要では。

町長 社会体育クラブの運営に要する経費の補助を実施しており、登録児童数に応じて定額補助している。仮に現行のクラブ運営補助制度を廃止し、施設使用料の全てを減免する制度へ変更すると、指定管理者の収益減少にも繋がる。現行の社会体育クラブ運営補助制度の定額の補助額を見直すか、基準や上限を定めて使用料の実績に応じた精算払いにするか検討したい。
再質 各クラブも頑張っているのので、クラブ運営補助制度はそのまま施設利用料を半額でも助成を検討すべき。

問③ 新型コロナウイルス感染症が感染法上、5類に移行し、観光地に観光客が戻りつつある中で、観光客を迎える苓北町の玄関口という場所にある物産館だが、2店舗のうち1店舗のみの営業となっている。いま一度、利用料、施設の利用方法等を含めて、検討が必要では。
町長 施設の利用料や施設用途のあり方など含めて活用方法の検討を行っている。1つの案として、産地直送市場などJ・Aのいほく及び天草漁協苓北支所との協議も開始している。施設の利用者の早期確保と、物産館に賑わいが戻るように努力して参る。

問② 2018年から小学校の運動部活動が廃止されて、社会体育クラブへと移行され、7種目8団体のクラブ

苓北町第9期介護保険事業計画
及び高齢者福祉計画について

【問①】
第9期計画の中では、今後益々深刻化する少子高齢化に加えて、団塊の世代が全員75歳以上となる令和7年を迎えることになる。また、高齢者人口がピークを迎える、令和22年を見通すと、85歳以上の人口が急増し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者など、様々なニーズのある要介護高齢者が増加する一方、生産年齢人口が急減することが見込まれる。



春 戸 議員

これまで以上に、人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤を整理するとともに、地域の実情に応じて、地域ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための具体的な施策や目標を、優先順位を検討したうえで、介護保険事業（支援）計画に定める必要があると思う。
●見直しのポイントとして
1. 介護サービス基盤の計画的な整備
①地域の実情に応じたサービス基盤の整備
②在宅サービスの充実
2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組
①地域共生社会の実現
②デジタル技術を活用し、介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための医療・介護情報基盤を整備。
③保険者機能の強化

3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上などが、第9期介護保険事業計画の基本指針のポイントとされている。
苓北町第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定にあたっての、考え方を伺う。

町長 苓北町第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を令和2年度に策定し、令和3年度～5年度までが計画期間となっている。今年度をもって終了となるので今年度に、令和6年度～8年度が計画期間となり、苓北町第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を策定する必要がある。
令和5年8月24日に、熊本県下、全市町村を対象に、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定に関する担当者説明会が開催されたので、示された計画策定にあたっての課題などを考慮しながら、見直しポイントの検討も含めて協議を行う。また、計画策定には、より専門的な知識も必要となるので、現状の分析と、将来の人口構造、福祉サービスのあり方などについても、委託業者と協議、打ち合わせを行いながら、苓北町の実情に合った計画になるよう進めて行く。

県関係国会議員への要望活動・視察研修を開催
期日：7月31日・8月1日

- 1. 視察研修先及び目的
【銀座熊本館：7月31日(月)】
銀座熊本館は、都心で魅力いっぱいの熊本が味わえるアンテナショップとなっている。銀座熊本館を視察することにより、苓北町の特産品のPR、観光案内、町のPRなど、苓北町の情報発信等に資することを目的とする。
2. 要望先及び要望案件
【衆参議員会館：8月1日(火)】
〔衆参議員会館〕8月1日(火)
(1)馬場参議院議員(要望書提出・意見交換)
(2)藤木参議院議員(要望書提出)
(3)松村参議院議員(要望書提出・意見交換)
(4)金子衆議院議員(要望書提出・意見交換)
(5)要望案件
国土強靱化施策、過疎地域振興施策、半島振興施策、食糧・農業・農村施策
3. 参加者
山崎町長、野崎議長、高戸副議長、田嶋議員、山口議員、廣田議員、松本議員、田崎議員、倉田議員、(随員) 田尻土木管理課長、松本議会事務局長
(欠席) 浜口議員、錦戸議員



要望書を提出した苓北町訪問団。左から順に、山口議員、田嶋議員、田嶋議員、松本議員、山崎町長、金子恭之衆議院議員、野崎議長、高戸副議長、倉田議員、廣田議員



金子恭之衆議院議員(左から4人目)との意見交換



町花「はまゆう」

議 会 日 誌

※主なものを載せています

(7月21日以降分)



町木「ツバキ」

8月

- 1日 県関係国会議員への要望活動
東京都千代田区
- 17日 総務文教厚生常任委員会
- 17日 議会全員協議会
- 22日 正副議長研修会 熊本市
- 24日 天草広域連合議会定例会傍聴
- 28日 議会運営委員会
- 28日 熊本県民体育祭天草大会
実行委員会設立総会 天草市
- 30日 天草地域国県道路整備
促進期成会総会 上天草市

9月

- 6～8日、14日 令和5年第6回議会定例会
- 7日 議会全員協議会
- 11～13日 令和4年度苓北町一般会計・
特別会計決算審査特別委員会
- 13日 議員全体会
- 14日 議会活性化等検討特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会

10月

- 2日 議会広報特別委員会
- 6日 町村議会議員研修会
- 6日 議会広報特別委員会

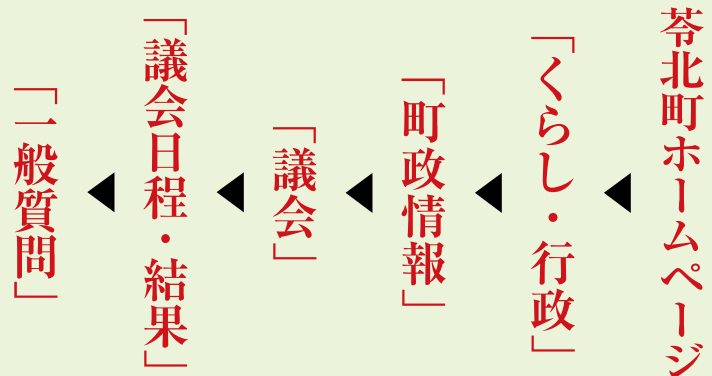
次の定例会は 12月です。

7月臨時会の傍聴者は、
8人でした。

9月定例会の傍聴者は、
41人でした。

会議録は、右記「議会日程・結果」内の
「会議録・議事録」で閲覧できます。

“定例議会の一般質問が インターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。
(苓北町ホームページがリニューアルされました。)

編集後記

近年の異常気象により例年にな
い猛暑が続いたが、10月に入り秋
の気配を感じ、過ごしやすくなっ
た。今年、我が町では、豪雨・台
風の襲来などなく、災害のない平
穏な気がした。

田畑には、町の特産である、レ
タスの植栽が始まった。高値・豊
作を願っている。

9月議会は、「令和4年度決算
審査」も行われ、予算が適正に執
行されているかを審査・討議を行
い議会として決算の認定、意見書
を提出した。令和6年度の予算に
生かされるよう望むものである。
また、9月13日には、第二次岸田
内閣が改造された。令和6年度の
予算編成も始まる。物価高騰など
でそれぞれ大変苦慮されている。
今後の経済対策を期待するもので
ある。

新型コロナウイルス感染症・イ
ンフルエンザなどの感染が収まる
気配が感じられない。それぞれ身
体に留意され、ご健勝を願うもの
です。

議会広報特別委員会